☆☆　新型コロナウイルス感染症ニュース　第 80 号　2021.8.16　☆☆

お盆を過ぎて秋の風が感じられるようになりましたが、新型コロナウイルス感染の急拡大が続いております。現状と今後の対策について記載いたします。

会長からのメッセージ

8 月 10 日に行われた新型コロナウイルス感染症対応病院長等会議では、宮城県はこれまでと同様、入院以外の感染者を原則として宿泊療養で対応する方針としました。8 月 16 日に仙台市内に新たな 1 施設を追加し、合計 5 施設、1000 室で宿泊療養が運用されることになります。

しかし、新規感染者の急増がこのまま続くと入院や宿泊療養開始までの間、自宅で待機する人が多くなります。何らかの理由で自宅療養となる感染者も増えるでしょう。

自宅待機・療養者の健康管理は管轄保健所が主に行うことになりますが、現状ですでに手一杯であり、われわれが支援するべきと考えます。

医療機関で陽性診断を行った感染者が自宅待機・療養となり、その間の治療を求める場合などには可及的に応じて頂きますようお願いいたします。その際は電話等を用いた診療を基本に行い、処方薬の渡し方などに関しては、薬局とよく相談をしていただければ幸いです。

現在、デルタ株の流行によりワクチン未接種の若い世代が多く感染し、重症化しています。これからの被害を最小限に食い止めるため、会員の先生方のさらなるご協力を賜りたく存じます。ここが正念場です。

（安藤健二郎）

新型コロナウイルス感染の現状‥最新の数については仙台市 HP、宮城県 HP をご参照ください。

仙台市 HP によると 8 月 15 日時点で

感染者総数　　7235 名　（入院中　112 名、宿泊施設等療養中　441 名、退院・療養解除　6390 名、死亡　53 名、調整中　239 名）

感染者数は倍増傾向で、感染経路不明者が 65.4%を占め、国の指標のステージⅣに相当しています。L452R 変異株も 82.9%に増加しているようです。年齢別新規陽性者では 20 代、30 代で 50%以上となり、10 歳未満の感染者も増加しております。保育施設、児童関連施設でのクラスター発生も報告されました。

また宮城県 HP によると、8 月 13 日時点の仙台医療圏の新型コロナ感染症受け入れ可能病床数に対して病床使用率は 84.1 ％ 、重症病床使用率は受け入れ可能病床数の 60%となっております。

実際に入院を受け入れている病院からも、入院調整に手間がかかり予備ベッドも使う対応など、逼迫した状況が聞かれております。医師会ドライブスルーPCR 検査は、お盆休み中も開設いたしましたが両日とも 50～60 件を超える多さで、家族内感染も多くみられておりました。宿泊療養者の増加にも医師会の担当する日にちを増やすなどの対応しており、在宅療養者への対応も仙台市や保健所、関係団体と協議進行中ですが、今すぐにでも動くことが求められております。小児・児童に対してもワクチン接種の推進とともに感染対策が重要になって来ると思われます。

（福壽岳雄）

新型コロナウイルス感染症感染予防ハンドブック、自宅療養をする方へ、同居の方へ―第 1 版―(2021. 1)

（宮城県新型コロナウイルス感染制御支援チーム・仙台市感染制御地域支援チーム・仙台東部地区感染対策チーム）http://www.tohoku-icnet.ac/Control/activity/images/guide/home_medical_handbook_01.pdf

前記、感染症拡大に対して「マスクの正しい着用」「手洗い」「換気」「会食・行事の自粛」「移動の延期・自粛」が言われております。しかし上記の自宅療養者の増加、小児・若年者の感染増加も考慮すると、これらの注意に加え家庭内感染を防ぐ対策も重要と思われます。特に自宅療養、入院調整中の患者さんに対してはかかりつけ医の指導も重要になってまいりますが、家庭内感染予防については 2021 年 1 月に標記ハンドブックが公開されておりますので、患者さんの指導や新規感染を防ぐ対策にお役立てください。

特に自宅療養の注意として「外出をしないこと」「鼻をかんだティッシュなどはビニール袋に入れ、口をしばって持ち出すこと」「同居する方と生活空間を分けること」「部屋を出るときのアルコール消毒とマスクの着用」「こまめな換気」、同居者については「感染者の世話をする人をできるだけ限られた方とする」

「お互いのマスク着用」「共用部分の消毒」「洗濯」などが解説されております。

仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種の現状

今回より、仙台市の公表資料が見直されております。仙台市民の接種状況の把握という趣旨から、これまでの V-SYS の数値から VRS の数値を基準に見直されました。

(参考)・ワクチン接種記録システム（VRS）…接種回数に計上されるのは、仙台市が発行した接種券で接種したもの

→ 仙台市外に住民登録のある方への接種は含まない

→ 仙台市に住民登録のある方が仙台市外で接種した場合を含む

・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）…接種回数に計上されるのは、仙台市域内で接種したもの

→ 仙台市外に住民登録のある方への接種を含む

→ 仙台市に住民登録のある方が仙台市外で接種した場合は含まない。

8 月 11 日 17 時の時点での登録数値です。

・一般接種　662,830 回（接種対象者数 965,687 人）
（うち 1 回目が 390,167 回、2 回目が 272,663 回）

・上記のうち 65 歳以上の高齢者　441,260 回（接種対象者数 271,562 人）
（うち 1 回目が 228,066 回、2 回目が 213,194 回）

・医療従事者等（高齢者施設等従事者を含む）　176,857 回
（うち 1 回目が 95,169 回、2 回目が 81,688 回）（8 月 4 日時点）

・市内職域接種会場での接種状況　126,063 回（会場は 19 ヵ所）
（うち 1 回目が 93,179 回、2 回目が 32,884 回）

※医療従事者等の実績は、VRS への登録が完了していないことから“一般接種”の集計に含まれず、参考として V-SYS の数値が別に掲載されております。市内職域接種会場での接種状況は V-SYS によるものですが、VRS への登録が済んでいるものについては“一般接種”の集計に含まれております。

今後の新型コロナウイルスワクチン接種スケジュール

現状で満 12 歳以上のすべての市民に対して接種券は送付され、仙台市の優先接種対象者（60 歳以上と基礎疾患のある方等）の集団接種予約受け付けは再開されております。※児童・生徒への接種については 7 月に仙台市教育委員会から市立学校長あてに「学校集団接種は行わない」「ワクチン接種または接種後副反応により学校を休む場合は欠席扱いとしない措置をとることができる」内容の通知がされております。

8 月 16 日（月）の週～・接種券のあるすべての市民へ「優先対象以外でも 23 日から予約が開始される」内容を周知するハガキ発送。

8 月 17 日（火）・**ワクチン移送希望量・希望日**を、通知済の **8 月 23 日（月）から 6 週分のワクチン移送可能量**（3 週間隔、**2 回接種分**）の範囲内で、各医療機関から**バイタルネットへ FAX 連絡**締め切り。

・各医療機関の 8 月 23 日以降の**仙台市 HP への掲載内容**についての確認締め切り（その後も毎週変更更新可能です）。

8 月 22 日（日）・**集団接種**で**優先対象者**の**接種再開。**

8 月 23 日（月）・**すべての対象者の集団、個別接種の受付開始**。個別医療機関の接種開始は、各医療機関の状況に応じて実施。

9 月 1 日（水）　・仙台市の事業に三師会が協力し、**平日準夜帯**のワクチン接種開始。

ニュース部、ワクチン担当チームより　（80 号担当　福壽岳雄）

感染予防に決定的な切り札のない中、少しでもできる対策をとらなければならない現状です。会員の皆様におかれましてもご自身、職場の健康管理とともにワクチン接種、感染者の治療、感染拡大の防止に今できることからのご尽力、ご協力をお願い申し上げます。

仙台市医師会へのご意見・ご質問等は FAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp